

# 東天燦たり

詞作 彦次郎 勝泰 田廣  
作曲 廣 吳

一、東天燦たり 朝日影  
 仰げ仰げ 吾等が理想―至誠の相  
 至誠 至誠  
 白聖の殿堂 厳しき學舎  
 永久に開く 吾等の文華  
 日に護り 日に究めん  
 嗚呼 玉名 玉中健兒  
 讃へん哉 母校玉名

二、碧空巍々たり 小岱山  
 望め望め 吾等が氣魄―剛健の相  
 剛健 剛健  
 白聖の殿堂 揺るがざる礎石  
 永久に變らぬ 吾等の任務  
 日に誓ひ 日に努めん  
 嗚呼 玉名 玉中健兒  
 讃へん哉 母校玉名

三、蒼原 浴たり 菊池川  
 見よや見よや 吾等が抱負―進取の相  
 進取 進取  
 白聖の殿堂 聳ゆる時計臺  
 永久に示す 吾等の行手  
 日に仰ぎ 日に勵まん  
 嗚呼 玉名 玉中健兒  
 讃へん哉 母校玉名

# 高瀬高等女学校校歌

詞作 道次郎 知萬 杵若  
作曲 道次郎 知萬 杵若

一、うつろひやすき 紅の  
 浮華輕佻を よそにして  
 松の緑も 色まさる  
 小岱山の 春の朝

二、籠燈燃ゆる 火の國の  
 み民の誠 かくこそと  
 千々に時雨の 染めなせる  
 錦の川の 秋の暮

三、四時の眺望 麗はしく  
 徳ぶに餘る 大自然  
 妙なる園に 分け入りて  
 文化の花を 手折るかも

四、至誠貞節 勤勞の  
 教を守り 大空の  
 澄みわたりたる 心もて  
 皇國の為に 盡しなむ

# 玉名高等高校校歌

詞作 周二郎 周三郎 大坪  
作曲 周二郎 周三郎 大坪

一、若駒高く 嘶きて  
 朝明け放つ 小岱の  
 秘めし歴史を 仰ぎつつ  
 久遠の理想 きはめんと  
 集ふ若人 千五百  
 讃へなん、 母校  
 お、玉名

二、流るる雲の 果遠く  
 菊池の水の いや澄て  
 永久に變らぬ 愛の旗  
 礎固く 立つるとき  
 新しき風 起ころかな  
 仰ぎなん、 母校  
 お、玉名

三、夕日静かに 傾きて  
 校塔影を 落とすとき  
 明日を担へる 若人が  
 低迷の雲 払ひつつ  
 かかぐる炬火 燃え上がる  
 護りなん、 母校  
 お、玉名